

**EB-G5350
EB-G5200W
EB-G5100
セットアップガイド**



- 目次 -

同梱品の確認	2
設置しよう	3
コンピュータと接続して投写しよう	4
他の映像機器との接続	10
USB ケーブルで接続して投写しよう (EB-G5350 のみ)	11
説明書の構成	13
インジケータの見方	14
便利な機能	16



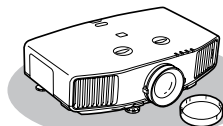
411384200

同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

プロジェクター本体



リモコン



単 3 形乾電池



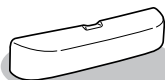
電源ケーブル
(日本国内専用 約 3m)



コンピュータケーブル
(約 1.8m)



ケーブルカバー



パスワードプロテクトシール



Projector Software For
Meeting & Presentation
(EMP-G5350 のみ)



Projector Software For
Monitoring
(EB-G5200W/G5100 のみ)



レンズユニット取外しボタン
固定ネジ
(プラスネジ M3、L6)



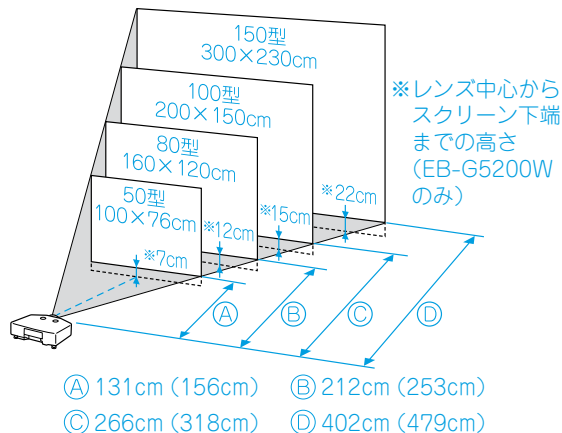
ドキュメント類

- 安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
- Document CD-ROM
- お客様情報 + 正式保証書発行カード
- セットアップガイド (本書)

1 設置しよう

スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。

本機のレンズからスクリーンまでの距離により映像のサイズが変わります。図中の値は目安です。投写距離の詳細値 ● 『取扱説明書』「スクリーンサイズと投写距離」



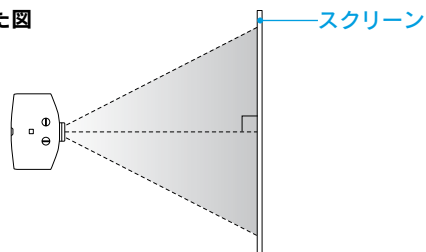
注意 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

左図の値は標準レンズを装着して、ズームを最大、レンズシフトを中央に設定し4:3スクリーンに投写するときの値です。ズームやレンズシフトの状態により値が変わります。カッコ内の値はEB-G5200Wで投写するときの値です。

本機をスクリーンに対して平行に設置すると、最も投写映像が鮮明です。本機をスクリーンの正面に設置できないときは、レンズシフトで映像を投写する位置を調整できます。

● p.7 「投写映像の位置調整 (レンズシフト)」

上から見た図



注意

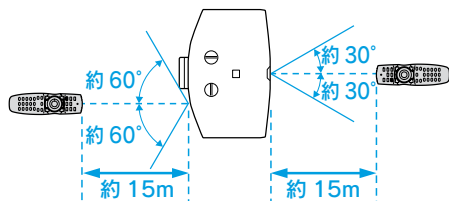
本機を縦置きや下向きの状態で投写しないでください。故障の原因となります。

● リモコンの準備 ●

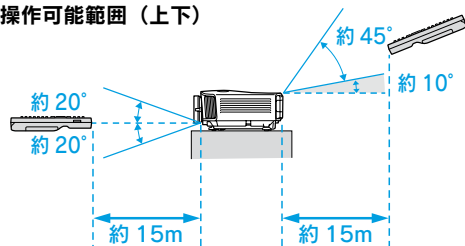
リモコンをお使いになる前に同梱の電池をセットしてください。

● 『取扱説明書』「リモコンの電池の交換方法」

操作可能範囲 (左右)



操作可能範囲 (上下)

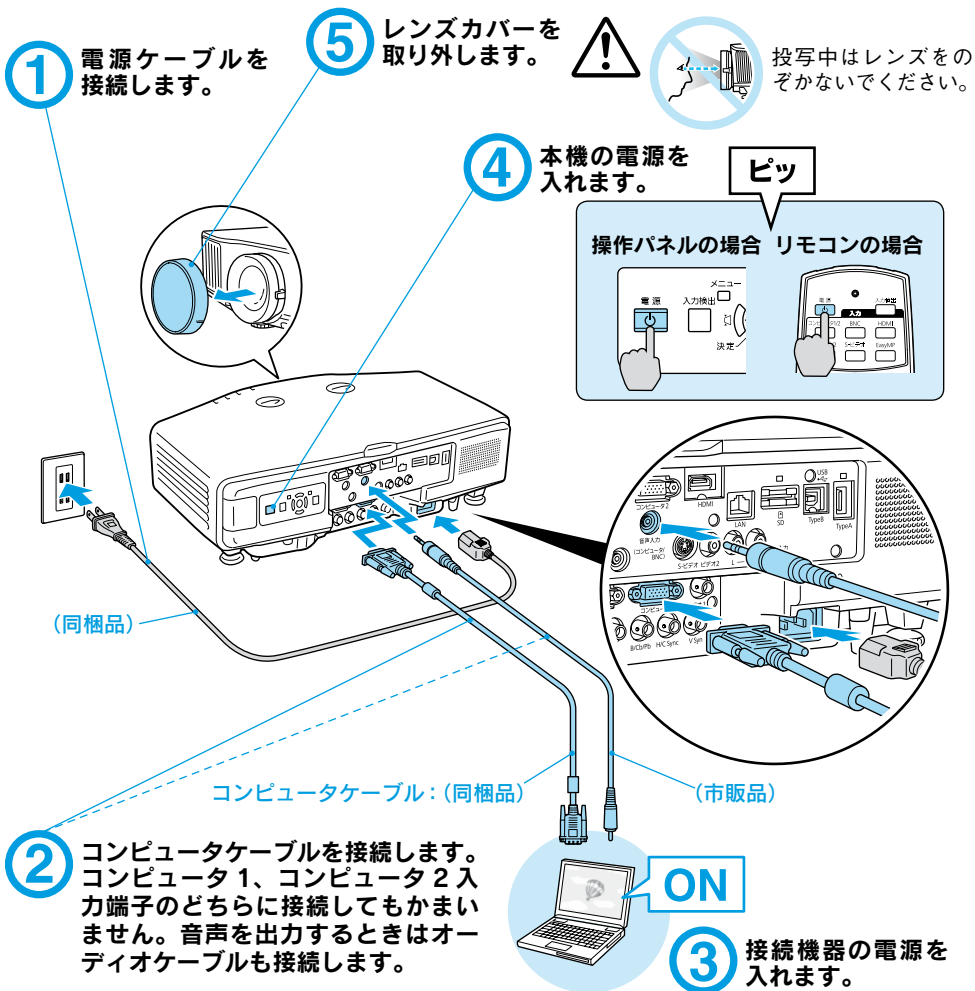


2 コンピュータと接続して投写しよう

※ 天井への取り付け（天吊り設置）は、特別な技術が必要です。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

※ 輸送時の保護のためにレンズシフト保護パッドが取り付けられています。初めてお使いになるときは保護パッドを取り外してください。取り外した保護パッドは再輸送時に必要となりますので保管願います。

6 ノートタイプのコンピュータをお使いのときは、映像信号の出力先を切り替えます。
例：エプソンの場合は **Fn** + **F8**



●映像が投写されないとき●

投写画面左下の表示（下図の枠囲みの部分）が、接続した入力端子名と一致しているか確認します。



入力ソース： **コンピュータ 1**

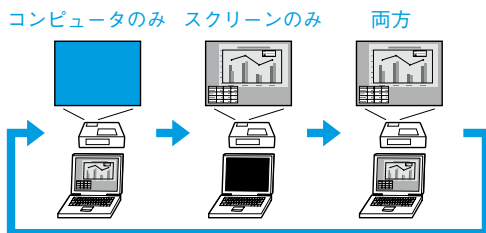
■投写画面の左下の表示が一致しているとき

コンピュータ側で映像信号の出力先を切り替えます。☛コンピュータの『取扱説明書』

切り替え後、しばらくすると投写されます。

出力切り替えの一例				
エプソン	Fn + F8	東芝	Fn + F5	Macintosh ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行う。OSによっては、 F7 で切り替えることができます。
NEC		lenovo/IBM	Fn + F7	
Panasonic	Fn + F8	SONY		
SOTEC		DELL	Fn + F8	
HP	Fn + F4	富士通	Fn + F10	

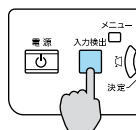
コンピュータによっては、次のように出力切り替えのキー操作を行うたびに表示状態が変わるものもあります。



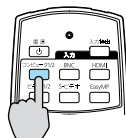
■投写画面の左下の表示が一致していないとき

入力ソースを「コンピュータ 1」または「コンピュータ 2」に切り替えます。

操作パネルの場合



リモコンの場合

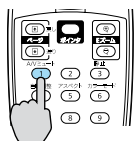


ボタンを押すたびに「コンピュータ 1」と「コンピュータ 2」が切り替わります。

● 投写状態や音量を調整するには● (はじめて設置するときや持ち運んでお使いになる方へ)

■ 投写映像を天吊モードに切り替える

本機を天吊り設置したときは、次の操作で投写映像の向きが適切になるように切り替えます。



約5秒間押し続ける

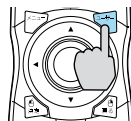
AVEモード

① を約5秒間押し続ける操作をするたびに投写映像の向きが切り替わります。

■ テストパターンの表示

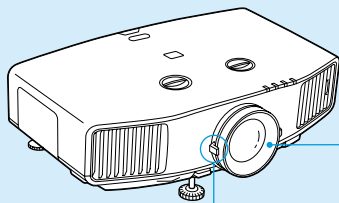
テストパターンを表示させると映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。

① を押すと、テストパターンが表示されます。



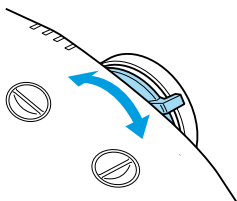
② を押すと、テストパターンが解除されます。

には初期設定ではテストパターンが登録されていますが、お好みで別の機能を登録できます。変更したときは環境設定メニューからテストパターンを起動してください。
● 『取扱説明書』「設定メニュー」

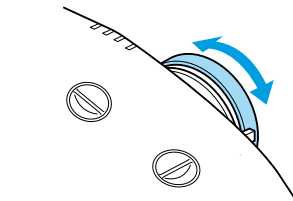


■ ズーム調整

大きくなる 小さくなる



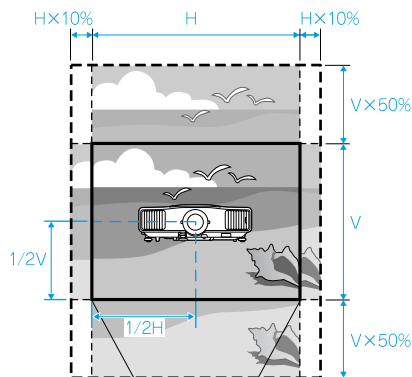
■ ピント(フォーカス)調整



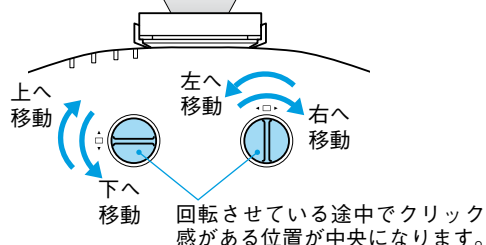
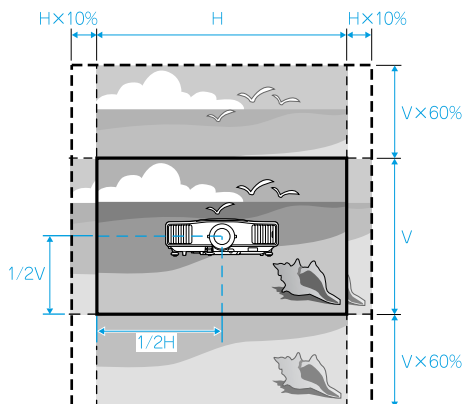
■ 投写映像の位置調整（レンズシフト）

スクリーンの正面に本機を設置できないときや映像が下すぎるときは、レンズシフトを使い下図の範囲内で映像の位置を上下左右に移動できます。

EB-G5350/G5100 の場合



EB-G5200W の場合

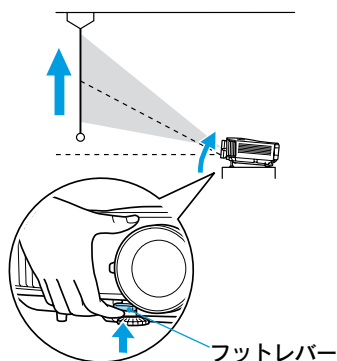


基準投写位置
(レンズシフト中央時)

基準投写位置から
調整可能な移動範囲

※ レンズシフトダイヤルを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。

■ 映像の位置調整



レンズシフトでの調整を超えて、さらに上方向に投写したいときはフットレバーを押してフロントフットで調節できます。

※ 本機は最大 30° まで傾けて使用できます。ただし、傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

注意

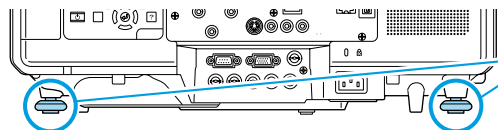
持ち運ぶときにはフロントフットを必ず収納してください。

■ 映像の台形ゆがみの解消

水平傾斜の調整

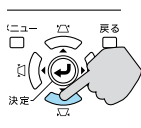
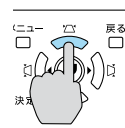
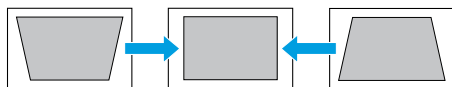


机上設置のときは、リアフットで本機の水平方向の傾きを調整します。



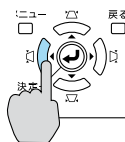
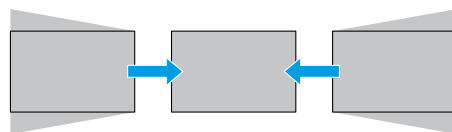
リアフット
伸ばす 縮む

タテ方向の補正



※ 本機の上下方向の傾斜角度が約 40° までであれば補正できます。

ヨコ方向の補正





※ 本機の左右方向の傾斜角度が約 20° までであれば補正できます。

Quick Corner で投写映像の 4 つのコーナーを個別に補正し、スクリーンにピッタリ合わせすることもできます。☞『取扱説明書』「Quick Corner でゆがみを補正する」


■ 音量調整



リモコンの  を押すと音量が上がり、 を押すと下がります。

音量は環境設定メニューでも調整できます。☞『取扱説明書』「設定メニュー」


●電源を切り終了する●

- ① 接続している機器の電源を切ります。
- ② リモコンまたは操作パネルの  を2回押します。
- ③ 「ピッピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを抜きます。
- ④ レンズカバーを取り付けます。

天吊り設置していてレンズカバーを取り外したままで使用する場合は、レンズカバーは再輸送時に必要となりますので保管願います。

※ 終了後すぐに電源を入れ直したときは、投写までの時間が通常より長くなります。

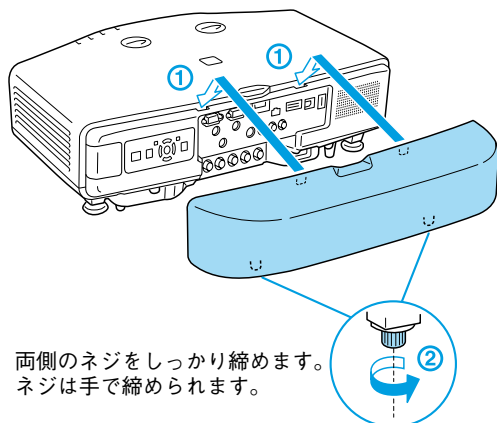


ダイレクトシャットダウンに対応していますので、会議室など電源を集中管理している場所では、 を押さずに電源ケーブルを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ってもかまいません。

●ケーブルカバーの取り付け・取り外し方●

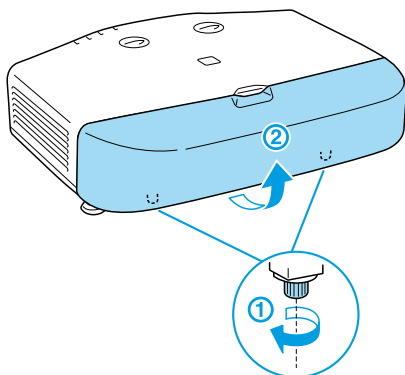
ケーブルカバーを装着すると、雑然としたケーブル類をきれいに包み隠しスッキリした外観となります。

■取り付け方

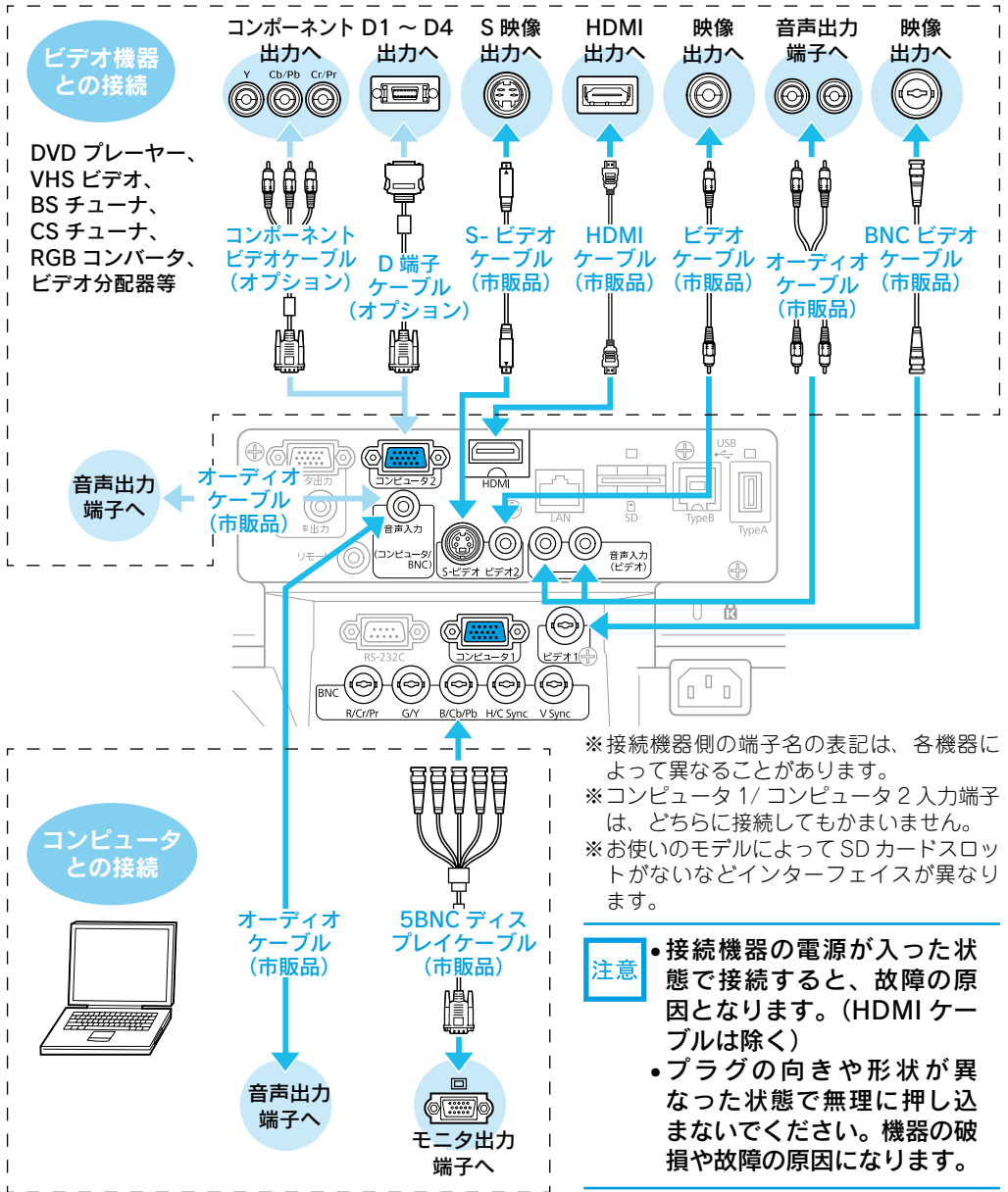


両側のネジをしっかり締めます。
ネジは手で締められます。

■取り外し方



他の映像機器との接続



- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続します。
- 市販の 2RCA(L・R) / ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

USB ケーブルで接続して投写しよう (EB-G5350 のみ)

本機は、市販の USB ケーブルで Windows 搭載のコンピュータと接続してコンピュータの映像を投写できます。この機能を USB ディスプレイと呼びます。

① コンピュータの電源を入れます。

ON

② 電源ケーブル (同梱品) を接続します。

③ 本機の電源を入れます。

④ レンズカバーを取り外します。

⑤ USB ケーブル (市販品) を接続します。

本機から音声を出力するときはオーディオケーブル (市販品) も接続します。

投写中はレンズをのぞかないでください。

注意 USB ハブを経由した接続ではなく、直接本機とコンピュータを接続してください。

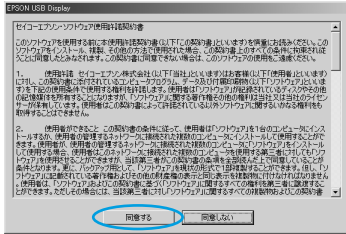
ピッ

操作パネルの場合 リモコンの場合

■ 初めて接続したとき

自動的にドライバのインストールが始まります。

コンピュータ画面

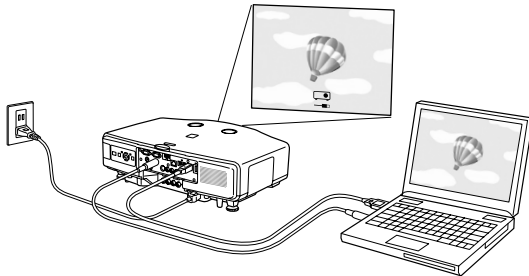


必ず「同意する」を選択します。



■ 2 回目以降

コンピュータの映像が投写されます。



※ お使いのコンピュータが Windows 2000 のときは、自動的にインストールしません。「マイコンピュータ」で「EPSON_PJ_UD(X:)」をダブルクリックしてください。

※ インストールを行わないと USB ディスプレイを実行できません。万一、インストールを中止するとき限り「同意しない」を選択してください。

※ 投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。そのままの状態が投写されるまでお待ちください。

※ 投写を終了するには、USB ケーブルを抜きます。ケーブルを抜く際に、コンピュータで「外部デバイスの取り外し」を行う必要はありません。

万一、投写されないときには

「すべてのプログラム」 - 「EPSON Projector」 - 「EPSON USB Display」 - 「EPSON USB Display V1.1」をクリックします。

自動的にインストールされないときには

「マイコンピュータ」 - 「EPSON_PJ_UD」 - 「EMP_UDSE.EXE」をダブルクリックします。

Windows 2000 でエラーメッセージが表示されるとき

Windows 2000 搭載のコンピュータをユーザー権限でお使いのときは、インストール時に Windows のエラーメッセージが表示されインストールできないことがあります。この場合は、Windows をアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。詳細は、本書に記載の連絡先にご確認ください。☛ p.15

ドライバをアンインストールするには

「スタートメニュー」 - 「EPSON USB Display」 - 「EPSON USB Display の削除」をクリックします。

説明書の構成

本機には次の説明書が添付されています。以下の順番でお読みください。

本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

①



『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。本機をお使いいただく前に必ずご覧ください。

②



『セットアップガイド』(本書)

本機を使い始めるまでの準備（同梱品の確認・設置・コンピュータやビデオ機器との接続）と投写開始時の基本操作について記載しています。

③



Document CD-ROM

● 『取扱説明書』(PDF)

便利な機能、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

● 『EasyMP 活用ガイド』(PDF)

本機とコンピュータをネットワークを使って接続し、会議やプレゼンテーションを効果的に行う方法を説明しています。

● 『EMP Monitor 操作ガイド』(PDF)

添付の Projector Software CD-ROM に収録されている「EMP Monitor」の使い方を記載しています。

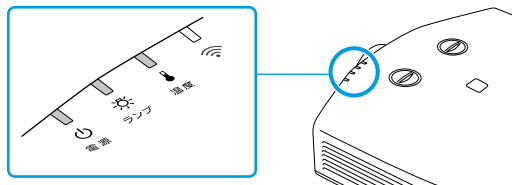
※ Document CD-ROM には、PDF 版の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』と『セットアップガイド』も収録されています。

● Document CD-ROM 内の説明書の見方●

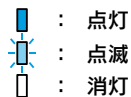
コンピュータの電源を入れ、CD-ROM ドライブに Document CD-ROM をセットします。

Document CD-ROM に収録されている PDF マニュアルのバージョンは PDF1.4 です。この PDF マニュアルをご覧いただくには、Acrobat Reader5.0 以上または Adobe Reader が必要です。

インジケータの見方



詳細は ● 『取扱説明書』 「困ったときに」



■ 正常動作時の 点 インジケータの状態

オレンジ 消灯 点	スタンバイ 点を押すと投写を開始します。
緑 点滅 点	ウォームアップ中 点を押しても無効になります (約 30 秒)。
緑 点 点	投写中 通常動作中です。

■ 異常／警告時のインジケータの状態

赤 点 点 点	内部異常	電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。
赤 点 消灯 点	ファン異常 センサ異常	
赤 点 消灯 点	内部高温異常 約 5 分間そのままの状態です スタンバイ状態になるのを待ちます。	次の 2 点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 壁際に設置しているときは場所を移動します。 • エアフィルタの掃除または交換をします。
赤 点 消灯 オレンジ 点	高温警告	
赤 点 点 消灯 点	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放状態	次の 3 点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または本書裏表紙の連絡先にご相談ください。 • ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。 • エアフィルタを掃除します。
オレンジ 消灯 点 消灯	ランプ交換勧告	すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。

※上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または本書に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ● p.15

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

FAQ よくある エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
<http://www.epson.jp/faq/>

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

○上記電話番号をご利用できない場合は、0263-54-5800へお問い合わせください。

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日、弊社指定休日を除く)

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚5-8-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

○上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070 ・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアドアサービス(修理品有償ピックアップサービス)に関するお問い合わせ先

ドアドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

○上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。*ドアドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

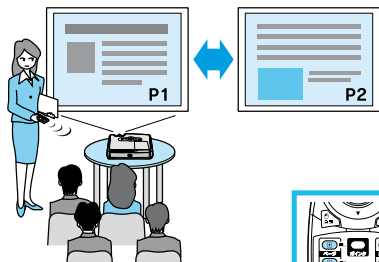
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。(2007年9月現在)

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

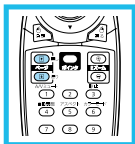
セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

便利な機能

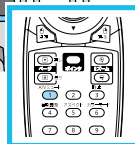
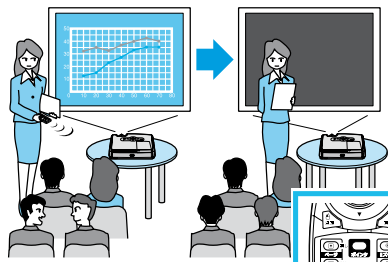
ページ Up/down (PowerPoint のスライドショー実行時)



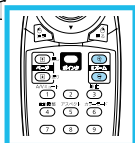
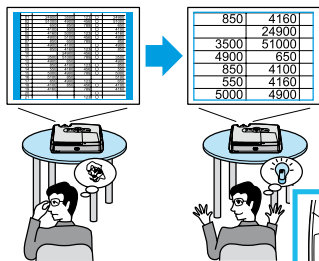
入力ソースが EasyMP の
ときのみ



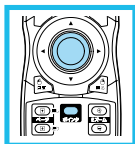
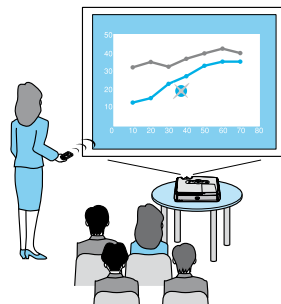
A/V ミュート



Eズーム



ポインタ



便利な機能を搭載しています。詳細は 『取扱説明書』